

知っておくべき漢方医療の基礎知識 第2回 消化器系症状と痛みへの漢方治療

日時：平成24年2月12日（日）10：00～15：00

講師：野上 達也 富山大学附属病院 和漢診療科 病棟医長 場所：すみだ産業会館

「知っておくべき漢方医療の基礎知識シリーズ」第2弾は、快晴の東京都墨田区錦糸町スカイツリーを目の前に仰ぐすみだ産業会館におきまして、富山大学大学院 医学薬学研究部 和漢診療学、富山大学附属病院 和漢診療科 病棟医長の野上達也先生を講師に迎え、「消化器系症状と痛みへの漢方治療」をテーマに開催いたしました。

使いやすい5処方からまず使い、処方を増やしていく！

第1回同様にセミナーの目的は「明日の外来で漢方治療を行う」、そして先生自身の目的は「プライマリケアをより充実させるために、より多くの先生方に漢方医学を活用していただく」でした。

今回の特徴は症状ごとに、よく処方される5～6種類の漢方から患者の「証」にあった処方をおこなえるような、まさに実践形式での講義となりました。

午前の部の冒頭は前回もおこなった「漢方医学の基本」のおさらいで、「陰陽」「虚実」など漢方特有の理論について解説をしていただきました。「陰陽」「虚実」を間違えると同じ症状に聞く漢方薬の種類を間違えて処方してしまい、逆に健康から離れて行ってしまうベクトルの薬を処方してしまうことになるので基本のこの部分が大事です。

次いで『消化器症状の漢方治療』として①食欲不振、②胃痛・胸焼け、③腹部膨満感、④慢性便秘、⑤下痢症、⑥腹部疝痛について5つ程度の食処方される薬の名前を挙げ「保険適用の診断名」「処方薬を選択するためのKey Words」「患者さんにおける陰陽・虚実の状態に最も適した薬を座標上においての説明」などを解説し、最後に実際の症例をもとに最適な漢方薬を選んでいただくクイズ形式の症例問題で理解を深めていきました。

午後の部では今回が初めての受講者の先生がいたので脈診・腹診・舌診のおさらいをおこない、その後『痛みへの漢方治療』として①慢性頭痛、②肩こり、③腰痛、④関節痛、⑤舌痛症について午前と同様によく処方する薬の特徴などから実際の症例問題を解きながら講義が進んでいきました。



若手ながら勉強家でわかり易い説明をする野上先生

セミナーでは受講の先生方も実際に漢方を処方されていきましたので、今までの診療で抱いていた疑問などを野上先生に質問し、その都度的確な回答をしていただきアンケートでは今回も好評価をいただきました。

漢方セミナーシリーズ第3弾は3月25日（日）「めまいなど神経症状と女性のための漢方」をテーマに東京都品川区大井町駅前のきゅりあんで開催いたします。

また次回セミナーは3月17日（土）16：00～19：00、東京都中央区のインプリメント セミナールームで「失敗例・成功例に学ぶ外来診療の徹底攻略」をテーマに「本音の家庭医」花見川中央クリニック 院長 北垣毅先生によります明日からの診療に即効性のあるセミナーを開催いたします。